



TOKYO BIG SIGHT ANNUAL REPORT

令和3年度 年次報告書

株式会社 東京ビッグサイト

会社概要

概要 (令和4年6月24日現在)

会社名：株式会社東京ビッグサイト
英文名：Tokyo Big Sight Inc.
所在地：東京都江東区有明3丁目11番1号
設立：昭和33年4月1日
資本金：55億71百万円

事業内容

- ◆ 東京ビッグサイト(東京国際展示場)の会場管理・運営
- ◆ 見本市・展示会主催・運営
- ◆ 有明パークビル / TFTビル / タイム24ビルの管理・運営

沿革

- | | | |
|--------|-----|---|
| 昭和 31年 | 3月 | 社団法人東京国際見本市協会設立以降、東京国際見本市など各種見本市を主催 |
| 昭和 33年 | 4月 | 株式会社東京国際貿易センター設立以降、晴海見本市会場を運営 |
| 平成 8年 | 3月 | 晴海見本市会場閉場 |
| 平成 8年 | 4月 | 東京ビッグサイト開業 |
| 平成 11年 | 5月 | 株式会社東京国際貿易センターが有明パークビルを竣工させ、管理運営を開始 |
| 平成 12年 | 4月 | 株式会社東京国際貿易センターが東京ファッションタウン株式会社及び株式会社タイム二十四と業務統合 |
| 平成 15年 | 4月 | 社団法人東京国際見本市協会と株式会社東京国際貿易センターが統合、「株式会社東京ビッグサイト」と社名変更 |
| 平成 18年 | 3月 | 東京ファッションタウン株式会社及び株式会社タイム二十四と合併 |
| 平成 21年 | 1月 | 臨海ホールディングスグループに参加 |
| 平成 28年 | 10月 | 東新展示棟(東7・8ホール)竣工・営業開始 |
| 平成 31年 | 3月 | 青海展示棟(A・Bホール)竣工(令和3年12月営業終了) |
| 令和 元年 | 6月 | 南展示棟(南1~4ホール)竣工・7月営業開始 |

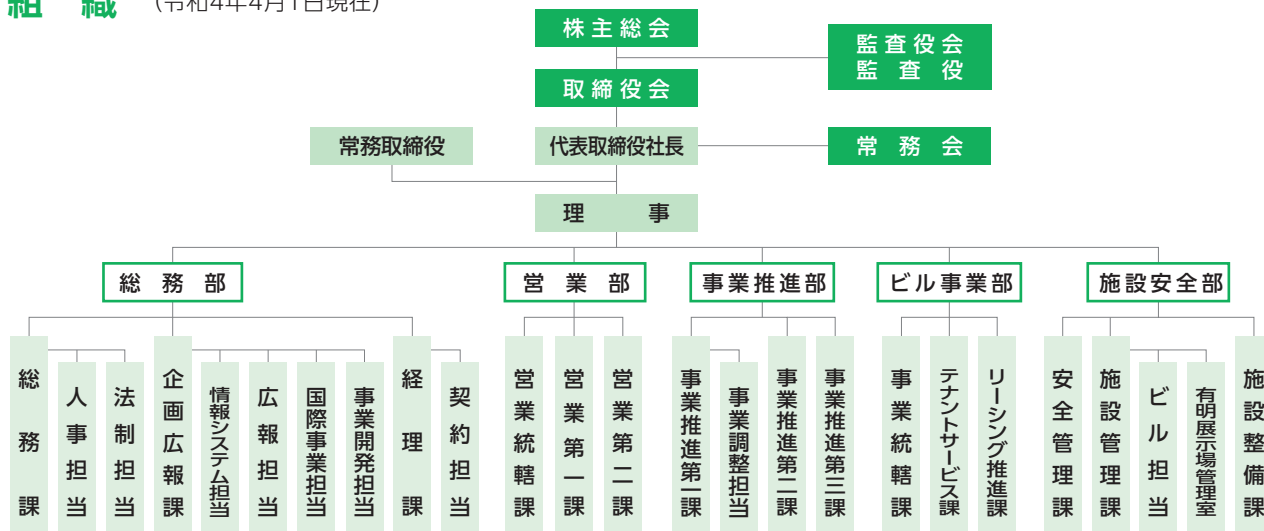
経営理念・経営方針・行動基準

- | | |
|------|--------------------------|
| 経営理念 | 産業振興と地域発展の一翼を担い、社会に貢献する。 |
| 経営方針 | 「東京ビッグサイト」ブランドの確立 |
| 行動基準 | 感動する出会いをスマートにつくろう! |

役員 (令和4年6月24日現在)

- | | |
|------------|--------------------|
| 代表取締役社長 | 石原 清次 (元 東京都下水道局長) |
| 代表取締役常務取締役 | 津国 保夫 (元 東京都交通局理事) |
| 常務取締役 | 中山 康 |
| 取締役(非常勤) | 小林 治彦 |
| 取締役(非常勤) | 坂本 雅彦 |
| 取締役(非常勤) | 南 和男 |
| 取締役(非常勤) | 宮田 芳和 |
| 常勤監査役 | 山内 健生 |
| 監査役(非常勤) | 島岡 聖也 |
| 監査役(非常勤) | 歌川 貴 |
| 監査役(非常勤) | 矢田部 裕文 |

組織 (令和4年4月1日現在)



会社の概況

株式の状況 (令和4年3月31日現在)

(1)発行済株式の総数 普通株式 2,619,705株
(自己株式79,690株を含む)

(2)株主数 116名

(3)大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
株式会社東京臨海ホールディングス	1,924,700	75.77
三井不動産株式会社	76,600	3.01
株式会社東芝	71,000	2.79
株式会社日立製作所	70,000	2.75
三菱電機株式会社	60,000	2.36
東京ビッグサイト従業員持株会	37,020	1.45
富士電機株式会社	34,000	1.33
清水建設株式会社	30,600	1.20
株式会社みずほ銀行	26,180	1.03
大成建設株式会社	20,600	0.81

(注)出資比率は、発行済株式総数から自己株式数を除いた数に基づき算出しています。なお、当社は自己株式 79,690株を保有していますが、上記大株主からは除外しています。

重要な子会社の状況

会社名	株式会社ビッグサイトサービス
資本金	60,000千円
当社の議決権比率	100%
主要な事業内容	清掃及び廃棄物の収集・運搬並びに物販等のサービス事業

従業員の状況 (令和4年3月31日現在)

従業員数	113名
前期末比増減(△)数	2名
平均年齢	41.0歳
平均勤続年数	14.0年

従業員数には、子会社への出向者数及び臨時雇用者数は含まれていません。

事業の概況 (令和3年度)

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令やその延長等の影響により、イベントの人数制限や国内外移動の自粛要請期間が長期化するなど、国際会議や展示会等のMICE業界にとっては非常に厳しい1年となりました。こうした情勢のなか、当社は各事業において様々な制約を受けつつも、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と経済活動の両立を目指す取組みを進めてまいりました。

会場運営事業では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、東京ビッグサイトに設置されたIBC(国際放送センター)/MPC(メインプレスセンター)は、世界各国のメディア関係者にご利用いただきました。大会終了後の9月からは

展示会の開催が再開され、12月からは総展示面積約11万6,000㎡を有する展示場として本格稼働し、安全・安心な会場運営に尽力してまいりました。

主催事業では、危機管理に関する最新情報や製品を一堂に集めた危機管理産業展2021や中小企業マーケットTOKYO2022の開催等に取り組んでまいりました。

ビル事業では、既存テナントとのコミュニケーション機会を増やし、リレーションシップを強化するとともに、顧客ニーズの把握・対応に努め、満足度向上へとつなげてまいりました。また、入居率の維持向上を目指し、利用ニーズに応じた柔軟なサービス提供を行うことで、新たなテナントの確保に努めてまいりました。

損益及び財産の状況

区分	第78期 平成30年度	第79期 令和元年度	第80期 令和2年度	第81期 令和3年度 (当事業年度)
営業収益(千円)	23,376,546	20,953,419	14,682,969	17,962,636
経常利益(千円)	5,124,226	2,649,449	△441,449	1,833,580
当期純利益(千円)	3,522,577	1,841,524	△254,777	1,214,789
一株当たり当期純利益(円)	1,360	724	△100	478
総資産(千円)	84,221,093	83,546,303	78,662,299	82,633,237
純資産(千円)	63,160,086	64,853,477	64,497,099	65,610,288

(注)1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式総数から期中平均自己株式数を控除して算出しております。

貸借対照表 (令和4年3月31日現在)

資産の部

科目	金額	
流動資産		
現金及び預金		22,833,075
営業未収金		473,290
預け金		2,100,000
前払費用		420,084
その他の流動資産		7,305
貸倒引当金		△ 1,289
流動資産合計		25,832,466
固定資産		
有形固定資産		
建物	63,198,923	
減価償却累計額	△ 29,796,521	33,402,401
構築物	1,629,827	
減価償却累計額	△ 1,103,510	526,317
車輛	2,341	
減価償却累計額	△ 2,341	0
工具、器具及び備品	2,488,806	
減価償却累計額	△ 2,359,074	129,731
土地		19,169,527
リース資産	10,506	
減価償却累計額	△ 9,533	972
建設仮勘定		223,685
有形固定資産合計		53,452,636
無形固定資産		
ソフトウェア		122,246
商標権		703
電話加入権		4,859
無形固定資産合計		127,809
投資その他の資産		
関係会社株式		200,177
長期前払費用		2,777,933
差入保証金及び敷金		242,213
その他		6,485
貸倒引当金		△ 6,485
投資その他の資産合計		3,220,325
固定資産合計		56,800,771
資産合計		82,633,237

負債の部

(単位：千円)

科目	金額	
流動負債		
未払金		2,788,402
1年以内返済予定の長期借入金		691,979
リース債務		787
未払費用		9,424
未払法人税等		971,967
未払消費税等		294,641
前受金		3,732,497
預り金		7,682
賞与引当金		68,080
その他の流動負債		135,937
流動負債合計		8,701,401
固定負債		
リース債務		262
繰延税金負債		2,336,410
退職給付引当金		345,790
資産除去債務		1,249,487
預り保証金及び敷金		4,389,597
固定負債合計		8,321,548
負債合計		17,022,949

純資産の部

株主資本		
資本金		5,571,000
資本剰余金		
資本準備金		3,348,750
資本剰余金合計		3,348,750
利益剰余金		
利益準備金		300,000
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	13,315,148	
別途積立金	40,000,002	
繰越利益剰余金	3,274,522	56,589,673
利益剰余金合計		56,889,673
自己株式		△ 199,135
株主資本合計		65,610,288
純資産合計		65,610,288
負債及び純資産合計		82,633,237

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
営業収益		
会場運営事業収入	10,003,081	
主催事業収入	229,501	
賃貸事業収入	7,371,070	
その他の事業収入	358,982	17,962,636
営業原価		
会場運営事業原価	8,829,068	
主催事業原価	315,740	
賃貸事業原価	5,256,515	
その他の事業原価	324,038	14,725,362
営業総利益		3,237,273
販売費及び一般管理費		1,370,644
営業利益		1,866,628
営業外収益		
受取利息	1,317	
その他	3,098	4,415
営業外費用		
支払利息	27,499	
その他	9,963	37,463
経常利益		1,833,580
特別利益		
国庫補助金等受入額		4,270
特別損失		
固定資産除却損		239
税引前当期純利益		1,837,611
法人税等		
法人税、住民税及び事業税	910,604	
法人税等調整額	△ 287,781	622,822
当期純利益		1,214,789

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

東京ビッグサイトの会場管理・運営事業

◆ 概況

当期は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令やその延長等の影響により、イベントの人数制限や国内外移動の自粛要請期間が長期化するなど、国際会議や展示会等のMICE業界にとっては非常に厳しい1年となりました。こうした情勢のなか、当社は各事業において様々な制約を受けつつも、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と経済活動の両立を目指す取組みを進めてまいりました。

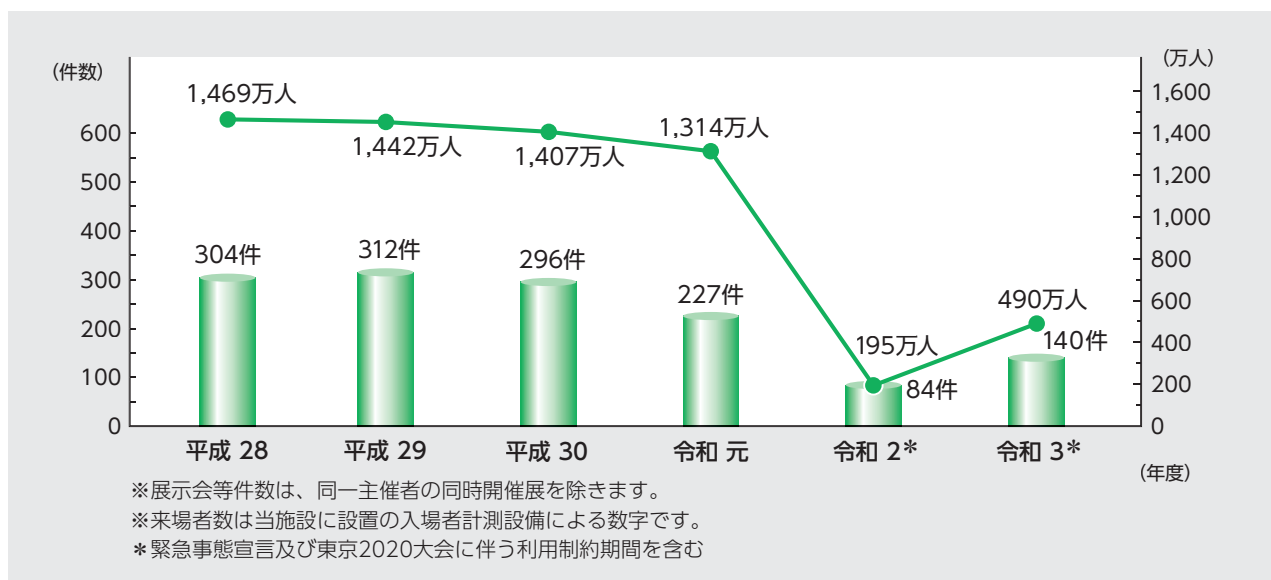


東京ビッグサイト施設概要 (令和4年7月現在)

正式名称： 東京国際展示場
 所在地： 東京都江東区有明3丁目11番1号
 敷地面積： 265,751m²
 建築面積： 185,348m²
 延床面積： 316,992m²
 展示施設： 屋内展示場 3棟 16ホール
 (総展示面積 115,420m²)
 屋上展示場(6,000m²)
 会議施設： 国際会議場(1,000人収容)
 レセプションホール(1,700m²)
 会議室(22室 35m²~760m²)

◆ 展示会等利用件数・来場者数

(令和4年4月現在)



◆ 展示ホール稼働率

年度	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	令和 2	令和 3
展示ホール稼働率	73.3%	76.2%	73.9%	69.5%	22.7%	53.5%

◆ 1年間の取り組み

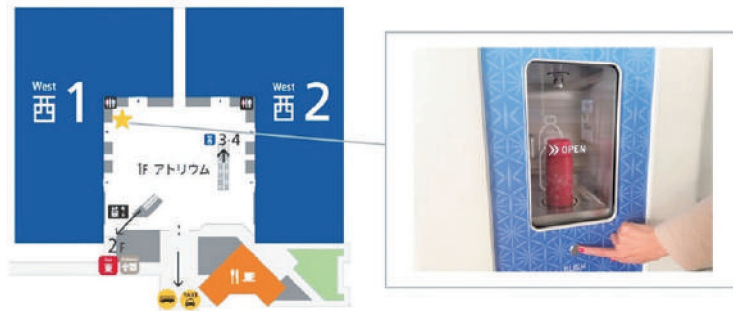
● サービス

・展示ホール内滞留者数カウント用センサの貸出しサービス

令和3年12月より、コロナ禍での催事開催を支援するため、展示ホール内の滞留者数を主催者側でリアルタイムに把握することが可能なセンサ機器の貸出しサービスを開始しました。

・ボトルディスペンサー式水飲栓

東京都水道局への協力事業の一環として、環境に優しいライフスタイルを推進するため、西展示棟アトリウムに無料で給水が可能なボトルディスペンサー式の水飲栓を設置しました。



● 各種訓練

・自衛消防訓練等

法定自衛消防訓練を年2回実施しました。その他にも、通報訓練、消火器操作訓練、不審者対応訓練等の施設警備による個別訓練や、主催者との合同自衛消防訓練等を実施し、東京ビッグサイトの安全・安心の向上に努めました。

・突発対処合同訓練

令和4年2月25日には、警視庁による指導・協力のもと、展示会開催中を想定した不審者制圧、避難誘導等の突発対処合同訓練を実施しました。施設警備、イベント警備が合同で訓練へ参加し、各警備の連携強化と対応能力の向上に努めました。



● 東京国際プロジェクションマッピングアワードVol.6（令和3年11月13日）

地域の賑わい創出、次世代の空間映像クリエイターの発掘と育成を目的として、平成28年の初開催から会議棟の壁面を活用して、本アワードの上映会・最終審査会を実施しています。今回は、無観客オンライン形式で開催し、過去最高となる延べ22万人が視聴しました。次回は、令和4年11月19日の開催を予定しています。



表彰式



最優秀作品

展示会主催・運営事業

◆ 開催報告

危機管理産業展 (RISCON TOKYO) 2021 / テロ対策特殊装備展 (SEECAT) '21



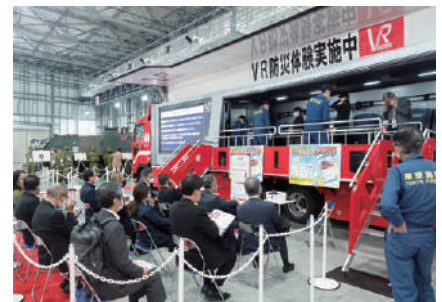
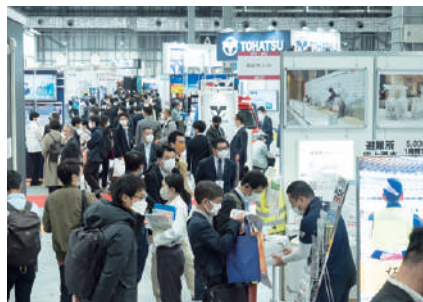
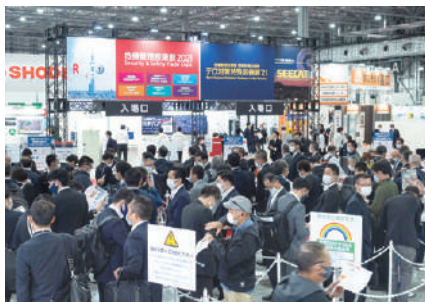
- ◇ 会期：2021年10月20日(水)～10月22日(金)
- ◇ 主催：株式会社東京ビッグサイト

防災・減災対策からセキュリティ・テロ対策まで、国内外の危機管理に関する製品・技術・サービス・情報などを対象とする危機管理の総合展示会を上記日程で開催しました。

本展では、「防災・減災」「事業リスク対策」「セキュリティ」の主要3分野に加え、喫緊の対策が求められる課題を解決するため、緊急企画展「感染症対策 TECH」と緊急特別テーマ「危機管理におけるデジタル化・DX推進」を新設し、注目を集めました。

また、15回目となる国内唯一のテロ専門展「テロ対策特殊装備展 (SEECAT) '21」を同時開催。新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安心安全なリアル展示会を開催しました。

開催回	開催年	小間数	出展社数	登録来場者数
第15回	2019年	613小間	390社	18,486人
第16回	2020年	345小間	218社	10,609人
第17回	2021年	425小間	264社	11,905人



中小企業マーケットTOKYO2022 ～アフターコロナの商品・サービス提案～

初開催

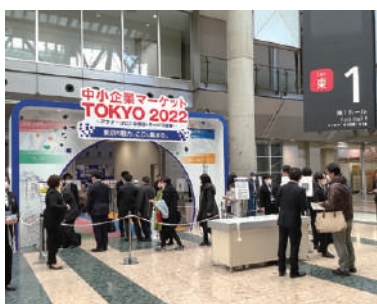


- ◇ 会期：リアル展示会 2022年1月26日(水)・1月27日(木)
オンライン展示会 2022年1月17日(月)～1月31日(月)
- ◇ 主催：東京商工会議所
- ◇ 共催：株式会社東京ビッグサイト

中小企業マーケットTOKYO2022は独自の技術や珍しい商材を持つ都内中小企業が一堂に会する「アフターコロナ」をテーマにした展示会です。「フード」「ライフスタイル」「ものづくり」「観光・体験サービス」の4つの分野より先進的な中小企業が集い、業種を超えた新たな出会い・新たな販路開拓を実現しました。

本展はリアル展とオンライン展のハイブリッド形式で開催しました。リアル展会場内では、主催者企画として、バイヤーや中小企業診断士による経営相談、各業界の著名な講師によるセミナー等を実施しました。オンライン展では、出展者情報掲載の他、チャット機能・ビデオ商談機能を掲載し、時間や場所に制約なく、充実した商談を行うための環境を提供しました。

開催回	開催年	小間数	出展社数	登録来場者(リアル)	登録来場者(オンライン)
第1回	2022年	355小間	293社	2,823名	3,772名



◆ 開催予告

危機管理産業展 (RISCON TOKYO) 2022 / テロ対策特殊装備展 (SEECAT) '22



- ◇ 会期：2022年10月5日(水)～10月7日(金)
- ◇ 主催：株式会社東京ビッグサイト

危機管理産業展 (RISCON TOKYO) は、『危機管理』をテーマにした国内最大級の総合トレードショーで、「防災・減災」「BCP・事業リスク対策」「セキュリティ」の主要3分野を柱に、さまざまな課題やリスクに対処するための製品・サービスが一堂に集結します。

今年は新規の併催企画として「危機管理DX・サイバー対策ソリューション」「危機管理ドローンソリューション」を実施。主要3分野に密接に関わるカテゴリとして、企業や国・自治体の事業活動における喫緊の課題をテーマに「新しい危機管理」を提案することで、新ビジネスの創出を支援します。

また、昨年に引き続き「感染症対策TECH」を開催し、新たな知見や対策が求められる感染症分野に特化した技術の提案を行います。

JIMTOF2022 (第31回日本国際工作機械見本市)



- ◇ 会期：2022年11月8日(火)～11月13日(日)
- ◇ 主催：一般社団法人日本工作機械工業会 / 株式会社東京ビッグサイト

JIMTOFは、工作機械やそのあらゆる周辺機器が一堂に会する、ものづくりの総合見本市であり、かつ最先端の技術・製品が世界中から集結する、世界最大級の国際技術ショーです。今回で60周年を迎えるJIMTOF2022は、南展示棟を含めた東京ビッグサイト全館を使用し、過去最大規模の総展示面積118,540㎡で開催します。

また今回は、公式Webサイト上で出展者や出展製品等の情報が収集できるオンラインカタログの機能を拡充するとともに、新たに出展者によるWebセミナーやPR動画を視聴できるサービスをご用意するなど、より一層充実したデジタルコンテンツをご提供します。さらに、今回新たに加わる南展示棟エリアでは、成長が見込まれる注目トレンドであるAM/3Dプリンティング関連製品・技術が一堂に集結する特別企画「Additive Manufacturing エリア in JIMTOF2022」を実施します。本展の事前来場登録は、9月より受付開始予定です。

東京ビジネスチャンスEXPO (旧名称：中小企業マーケットTOKYO2022)



- ◇ 会期：リアル展示会 2022年12月14日(水)・12月15日(木)
オンライン展示会 2022年12月5日(月)～12月19日(月)
- ◇ 主催：東京商工会議所
- ◇ 共催：株式会社東京ビッグサイト

東京ビジネスチャンスEXPOは、昨年度開催した中小企業マーケットTOKYO2022から名称変更し、新たなスタートを切ることとなりました。本展示会は、「融合」をテーマに、「地域の魅力再発信・新しい価値の提案」「安心・安全の生活の提案」「生産性向上・課題解決ソリューションの提案」の3つの出展ゾーンを設け、関連する11の出展分野の製品・サービスを展示する総合展示会です。本展は、今年度もリアル展とオンライン展のハイブリッド形式で開催します。リアル展では、主催者セミナーに加え、出展者PRコーナー、最新技術体験コーナー等、充実した主催者企画を実施予定です。また、リアル展開催に先立ちオープンするオンライン展では、遠方の方も含め、幅広い来場者へ商談機会を提供します。

東京国際消防防災展2023 (FIRE-SAFETY TOKYO)



- ◇ 会期：2023年6月15日(木)～6月18日(日)
- ◇ 主催：東京消防庁 / 株式会社東京ビッグサイト / 東京国際消防防災展2023実行委員会

東京国際消防防災展2023 (FIRE-SAFETY TOKYO) は東京消防庁・株式会社東京ビッグサイト及び東京国際消防防災展2023実行委員会が主催する、最新の消防防災機器・システムを一堂に会する国際的な展示会です。

5年に一度の開催となる本展示会は、1982年に首都東京の防災力向上を目的に開催した「東京消防防災展(当時名称)」から数えて11回目の開催にあたります。

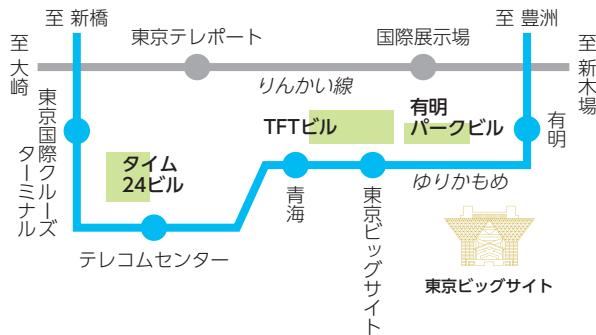
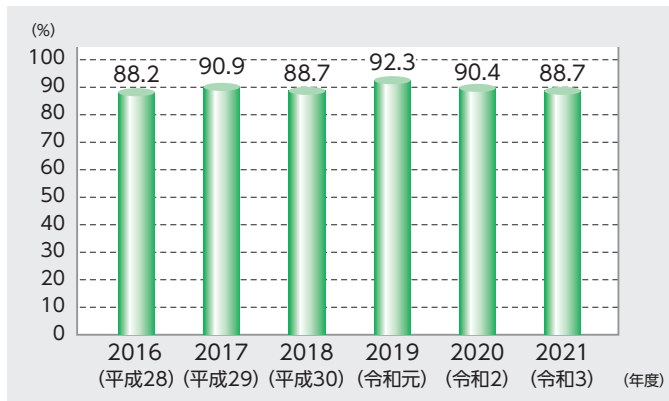
過去の災害を教訓とした各種災害リスクを周知することにより、都民等の防火防災意識及び行動力を向上させるとともに、住民・企業・行政による三者相互の連携強化並びに関連技術・産業の振興を目的とし、消防職員・団員を中心とした消防防災関係者から民間企業の防災関連担当者・エンドユーザー等の幅広い来場者を迎えます。

ビル事業

◆ 概況

ビル事業では、既存テナントとのコミュニケーション機会を増やし、リレーションシップを強化するとともに、顧客ニーズの把握・対応に努め、満足度向上へとつなげてまいりました。また、入居率の維持向上を目指し、利用ニーズに応じた柔軟なサービス提供を行うことで、新たなテナントの確保に努めてまいりました。

● 3ビルの入居率



● TFT(東京ファッションタウン)ビル

約50社の企業が入居するオフィススペースのほか、3つのホールと会議室・研修室があり、セミナーや展示会、パーティなど多彩なニーズに対応できます。また、1~3階には、レストラン・ショップから銀行・郵便局・クリニック・歯医者・保育園などの様々な施設が揃っています。



所在地：東京都江東区有明3丁目6番11号
 用途：事務所、貸ホール、貸会議室・研修室、店舗
 敷地面積：29,541m²
 建築面積：23,623m²
 延床面積：162,720m²

階数：地上9階
 地下(西館2階、東館1階)
 塔屋(西館2階、東館2階)
 主なテナント：(株)ヤマダデンキ 大家家具事業部、日本年金機構 他

● 有明パークビル

ホテル、オフィス、商業施設が一体となった複合ビルです。東京ビッグサイトへの来場者の拠点となる「東京ベイ有明ワシントンホテル」のほか、多彩なレストラン街があります。



所在地：東京都江東区有明3丁目7番11号
 用途：ホテル、店舗、事務所
 敷地面積：9,899m²
 建築面積：7,712m²
 延床面積：70,113m²

階数：地上22階、地下3階、塔屋1階
 主なテナント：藤田観光(株) 他

● タイム24ビル

青海地区にある、BCP発電機を設備したインテリジェントビルです。大スパンの無柱空間によるオフィススペースのほか、会議室・研修室やパーティーにも対応可能なレストランを備えています。平成30年9月にTOKYO GLOBAL GATEWAY(英語村)が開業しました。



所在地：東京都江東区青海2丁目4番32号
 用途：事務所、貸会議室・研修室、店舗
 敷地面積：10,588m²
 建築面積：4,989m²
 延床面積：66,485m²

階数：地上19階、地下1階、塔屋2階
 主なテナント：(株)TOKYO GLOBAL GATEWAY、ソフトバンク(株) 他

◆ 1年間の取り組み

● CS調査

各ビルのテナント向けに、定期的なCS調査を実施しています。令和3年度もCS調査に基づき改善策に取り組みました。ランチタイムの混雑緩和のためにテナント従業員向けに昼食スペースを拡大し、お弁当販売を拡充しました。また、TFTビルでは利便性向上のため、敷地内に宅配ロッカーを設置しました。宅配ロッカーは、非対面かつ受け取る側のタイミングで確実に荷物を受け取れる点が好まれています。



● 有明エリアマネジメント連絡会の活動

当社は、有明南エリアの事業者の皆様とともに平成26年に発足した有明エリアマネジメント連絡会の事務局を務めています。新型コロナウイルスの影響により令和2年3月から活動を休止していましたが、令和3年11月に担当者会議を開催し、活動を再開しました。新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、有明南エリアで働く・学ぶ方たちの満足度を向上させるとともに有明の魅力向上に資する取り組みを引き続き検討しています。



● エレシネマの導入

エレシネマは、プロジェクターを用いてエレベーター内に映像を投影するプロジェクション型メディアです。令和3年11月にTFTビルの一部のエレベーターに導入しました。放映内容は、最新ニュース・天気予報・CM等のビジネスパーソンに向けた情報に加えて、TFTビルを管理する当社からのお知らせを放映しています。当社からのお知らせは、エレシネマを活用することで配布及び掲示する紙の削減を図ることができ、またより多くのオフィスワーカーに向けて情報を発信することが可能となりました。



● サステイナブルなクリスマス装飾

TFTビルでは毎年展示していたクリスマス装飾を一新しました。SDGsの観点から装飾には廃棄予定であった花を再活用したロスフラワーを使用しています。オフィスワーカーの皆様にはロスフラワーを実際に装飾に挿していただくイベントや、最終日にはそのロスフラワーをオフィスワーカーの皆様へ配布するイベントを行いました。オフィスワーカーの皆様へ少しでも喜んでいただけるようサステナビリティを意識した取り組みを実施しました。





東京ビッグサイト



有明パークビル



TFT(東京ファッションタウン)ビル



タイム24ビル



株式会社 東京ビッグサイト

〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1
TEL: 03(5530)1111(代) FAX: 03(5530)1222
<https://www.bigsight.jp>

(令和4年7月)